

# 平成27年度(2015年度)アイランドキャンパス事業報告書

鹿児島大学法文学部

桑原季雄

## 1. 事業名

「聞き書き」を活用した文化観光振興事業(交流人口の拡大を図るための観光振興の方策について)

## 2. 目的

①住民の暮らしの断片を「聞き書き」で集める

②住用町の暮らしを体験する

③住用町の暮らしを活かした文化観光プランの作成

※準備段階から実施に至るまで、現地の関係行政職員・NPO団体・青年団と共に企画や意見交換を行い、還元する成果を生かすことができる人材へ直結するように心がけた。

## 3. 実施場所

奄美大島住用町

## 4. 実施期間

第一回実施 平成27年12月19(土)～21日(月)

第二回実施 平成28年1月15日(金)～17日(日)

※日程は現地の担当者や行事、学生の授業などの折り合いをつけて組み直したため、当初の予定より一ヶ月遅く、ずれ込んでの実施となった。

## 5. 参加者

教員2名、学生7名

内訳：2年2名(農・家畜、法文・経済情報)、3年1名(水産・生物資源)、4年1名(法文・人文)、院1年1名(人文社会)、交換留学生2名(韓国)

※教員との相談のもと学生代表者が企画し、多様な学部・学年の参加者で実施した。当初20名が参加予定だったが、そのうちの一部は授業履修のため参加を断念・及び期間を切り上げての参加となり、この人数となった。

## 6. 成果報告

### ●意見交換会

実施した第一回・第二回ともに、聞き書きや体験の感想に関して学生から住民へ報告し、交流

会を兼ねた意見交換会を行った。また、地元ラジオに出演する機会をいただき、学生から体験の感想を含む事業の報告を行った。

#### ●学生報告①

学生が事業で体感した奄美や住用についての感想やアイデアをまとめ、聞き書きによる「住用の魅力」についてまとめたもの。

#### ●学生報告②

体験毎の具体的な感想とアイデアをまとめたもの。

※別資料（パワーポイント）

#### ●提案：文化観光プラン

体験した住用町の暮らしを観光に活かすアイデアとして、おでかけプランシェアサイト「Holiday!」を利用して観光プランを作成した。鉄板の観光コースから、地元の人に教えていただいた秘密のスポットを含む、新しい住用町の過ごし方を提案した。以下のサイトで確認することができる。

URL：<https://haveagood.holiday/plans/32376>

※作成資料を奄美市総務部企画課、住用支所産業建設課、NPO法人、青年団に提出する。

## 学生報告①

-聞き書きによる住用の魅力の発掘と観光に対するアイデア-

### テーマ：住用あるある

「住用あるある」とは、島や住用で当たり前の日常だけれども他の場所や人にとっては普通じゃない・面白い、という住用ならではのコト・モノ・ヒトにまつわる言葉を集めたもの。

学生が滞在・交流する中で住用の人から聞きだし、まとめました。

### ワイルド

- ・靴下が嫌い、靴が嫌い：冬でもサンダルのことが多い
- ・夏の半身裸はザラ：ただし男の人に限る。
- ・ビールの空き缶でコップが作れる人がちらほら：タオルだけを使って綺麗に上部をくりぬく。保温と保冷がガラスのコップの比ではないのだとか。だがしかし切れ味よく超危険なので真似してはいけない。
- ・集落のじいちゃんたちはかなりクリエイティブ。：なんでもできる。かっこいいです。
- ・集落が遊び場：一つの集落全部使って鬼ごっこやかくれんぼをしていた。
- ・ソテツの実で笛を作れる：ナリ笛と呼ばれ、果肉をアスファルトで削り、木の枝で中身をほじると完成。
- ・ハブは金。：捕まえてお金をもらう。しまんちゅ、かっこよすぎます！
- ・秘密基地が4、5個ある：そしてそこに隠していたおもちゃが水害で全て流される
- ・通学路が大自然：マングローブ原生林を見下ろしたり、イノシシと見つめ合ったり。おやつは野イチゴ、遠足の最後は内海バンガロー。夏の大潮時期に道路を横切る大量のガニが車に潰された様子と匂いでカニが嫌いになった人もいるのだとか。
- ・夏、山から海へ、カニの道路横断：地元人もトラウマレベルらしい
- ・ヤギ肉を知り合いにもらう：シン肉しかり。

### 人

- ・話し好きな人が多い：噂が広まるスピードは光ファイバーをも凌ぐのだとか。
- ・いたずらはすぐばれる：子供は相手を知らなくても、子供が少ないので大人は子供のことを知っている。「〇〇の息子が川で遊んどった」という世間話が先生に伝わって学校で怒られたというエピソードも。
- ・親戚率の高さ：町内、学校、集落内での血縁関係が複雑すぎていきなり言われても理解できないが、基本的な会話のネタである。

- ・小中高一貫教育：というかみんな幼なじみ。ラジオ体操の参加者が一組の兄妹だけだったことも。
- ・親の名前が身分証明：「〇〇の息子の△△です」
- ・集合時間：川内は遅れてくる、城は早く来る、見里はぴったりに来る
- ・集落に一人は変な人がいる：草を食べるとか。
- ・冗談好きな人が多い：楽しむ、楽しませることが好きなのかも。
- ・ユライ場は公民館：歓迎会や送別会、ちょっとした話し合いなどの集まりで公共施設をフル活用。
- ・物々交換と言うよりは、「お返し」：野菜をもらえば魚で返すとか。

### 意外な一面

- ・さくらと言えば、1月下旬から2月中旬の緋寒桜：さくらちゃんは1月生まれ。
- ・意外と行ったことない場所がある：マングローブカヌー、モダマの沢、フナギョの滝など、「20歳を過ぎて初めて行った」なんてのもザラ。クロウサギもしかり。どうやら身近すぎるようです。
- ・とにかく相撲好きが多い：これも住用に限らないが、住用の青年たちは集まると相撲の話題で盛り上がる。大会まで開催しちゃうほど。
- ・東城校区と住用校区は犬猿の仲：運動会でバッチバチ。

### その他

- ・家の鍵が開いている：おすそ分けなど届け物をする時、閉まっていると不便。勝手に冷蔵庫にでっかい魚が入っていることも。むしろドアが開いていたりもする。
- ・だけど犯罪が起きにくい：基本良い人だらけ。さらには集落の人は互いによく顔を知っており、見知らぬ人がいれば他意はなくともすぐ噂になるので悪いこともできない。
- ・人懐っこい：住用に限らず、島の子供たちはすれ違えば元気に挨拶をしてくれるので、都会から来た人は少なからず驚くと同時に感動する。おじいさんやおばあさんも、挨拶をすると「どっから来たの〜？」と話をしてくれる。
- ・素敵な上下関係：ご飯の席では、目下の人が率先して飲み物を用意するし、送迎するために飲まないこともある。言葉づかいそのものが別。仲良い中にも礼儀あり、がびったりの素敵な関係である。
- ・「ハゲ〜」は便利な言葉：住用に限らず。驚き、ため息、ふとした拍子に出る感情を表す言葉。シチュエーションによって言い方も様々でとっても汎用性の高い便利な言葉。
- ・「よいしょ」がうまい。：小さい頃から多世代交流だからか、場を盛りあげたり持ち上げるのが上手。
- ・相撲をとりたがる、とらせたがる。
- ・1文字の名字が読めない&カッコイイシリーズ：中さん、政さん
- ・マイルアーをたいてい持っている。：と高校生は言っていました。
- ・いろいろ飲むけど、黒糖焼酎。：もっぱら「れんと」。
- ・めがね率が低い！！：みんな目がいいんだろうな。

## 観光に対するアイデア

今回の事業でたくさんの住用ならではの体験をした学生が、実際にやってみて感じた奄美や住用の感想と魅力やアイデア、また事業の感想について。

### ●住用の観光に対する感想

- ・奄美だけで育つ植物や果物を経験できる機会があったら良いと思います。
- ・もっと都会のようなところでの自由時間もあったら良かったと思います。
- ・今回は時化だったため、漁には行けなかったが、海が近くにある人でも漁に参加する機会はなかなかないため、漁体験はすごく魅力的な体験になると思う。
- ・船代や飛行機代も安くないから、よほど有名なことがないと本土の人はそんなに頻繁に来ることはないと思いますので、先に名瀬市に転勤してくる方をターゲットにして、少しずつ進むのがどうかなあと思います。特に、奄美に友達がいるので、会いに行くついでに、奄美で遊びたい人は少なくないと思います。その人たちの意見を聞き、そこからネットワークを作ってたくさんの人を連れてくるのも一つの方法だと思います。
- ・今回のように体を動くこともよいですが、集落に住み込んで、自然的なゆっくりした生活の体験もよいのではないのでしょうか。集落の人は普段やることを一緒にやらせてもらうことを通して集落の人とも交流できると思います。
- ・災害の話ももっと聞きたかったです。災害も自然の一部ですから。
- ・タンギョの滝やフナンギョの滝、マングローブなどは奄美の観光マップにも載っているので地元の人しか知らない穴場スポットのような場所にも行けたらおもしろいと思います。
- ・ご飯の時でも地域(集落)の方々が参加して、お年を召された方とも交流をしたいと思いました。

### ●ジャストアイデア

- ・朝、どこか港とか浜辺に椅子持ってきて、本とコーヒーとか持ってきて、読書会。毎回参加者が一人一つ本を紹介した後、本を読む。あとは各自自由解散。
- ・もっと島口聞きたい！島口検定とかどうでしょう？
- ・奄美料理レッスン
- ・スタンプツアー
- ・黒糖焼酎飲み比べ会
- ・奄美人トークにもっとはいつてみたいです
- ・内海の周辺はサイクリングが最高だと思う
- ・住用には、山、海、集落の特色や文化、そして人がいます。また、都市部では、身体を使いかつゆっ

くりと過ごせる余暇時間を求める人が増えています。そこで、山道、海の表情、町並みをいかし、散歩コースを設定して要所にスタンプラリーや休憩所をつくる、お弁当を渡して好きな場所・時に食べてもらう、地元の方の力が活かされる集落単位のフットパスイベントのようなものがあれば、楽しそうだなあと思いました。(参考例：<http://aira-kankou.jp/footpath/>) また、民泊やお風呂（五右衛門風呂など）がセットで用意できれば、それも面白いのかなと思いました。

・集落で放置されたらどうしていいかわからない、けれど地域の食や文化も味わいたい、とはいえ時間はしばらくはほらたくない… 観光客はわがままですが、住用の魅力は、断定してしまうよりも知れば知るほどじわじわとしみこんでくるなかにあるように感じたので、地域に無理のない形で、地域の良さが活かされる時間がつくれたら素敵だなと思います。

### ●事業の感想

・自分たちで奄美に行ってできないような体験がいくつもできたことがすごくよかった。住用の人達と関わって、皆さんすごいいい人たちばかりで、元気をもらえた。人にフォーカスを当てている点が住用の人たちを見て納得できたし、いいと思った。

・普段見ることのできない動植物が今回たくさん見れたし、今まで自分ができないと思っていたことを今回結構したので、よい体験になりました。郷土料理はとても美味しかったし、幼いときの中国の村の生活を思い出しました。

・地域の人との密着型だったので、いろんな人とお話しできて楽しかったです。和んだりホッとすることができました。一方で、港やきれいな景色をぼーっと眺めたりできたのでリラックスできました。

・地元の方々が案内をしてくださったこと！島の訛り、島の方言で若干聞き取りづらい部分もありましたが、逆にそれが良かったです。

・簡単なミッションを課されており、考えながら旅を楽しむことができた。

・さまざまな年代の人と関わることができ、島を幅広い視点で知ることができた。

・個人的ですが、奄美の地方部へ行きたいという思いはあっても、機会や場所がなかったのが、本当にありがたかったです。

・船で来た当日は疲れているのでその日は早く休むのがいいと思います。

・移動が多くて少し疲れました。

・所々、土砂崩れや崖崩れがおきているのがそのままにされているのが気になりました。災害の跡や自然の形態であるからとも思いましたが、観光にきた人はきれいな景色を見た後のそのような状態をみると不快に感じる方もいるのではと感じました。

### ●奄美、住用の感想

・野生動物が多く、海が美しかった。奄美の人々の親切さと真心を知れた。

・集落の皆さんが会いに来てくれたり、声をかけてくれたりと、あたたかく迎え入れてくれた。

・島バナナやパッション、山羊汁などをふるまっていたいただき、地域の味を堪能できたこと、それを通して地域の色んな人の顔が見えたこと。

・素直に奄美大島のが好きになったし、また来たいと思えた。交流や体験を通して住用町のいろんな方々につながることができ、今度旅行で来るにしても、次は人に会いに来ることができるのですごくいいなと感じた。学生とでも真剣に話してくれる町民の方々の姿勢にありがたく思え、その期待に応えようというプラスの気持ちになることができた。

・今回体験できて、本当によかったです。普段あまり運動しない人なので、次の日、全身筋肉痛になったけど、できなかったことも今回やってみました。また、違う人と会っていろんな人の話を聞きました。いつも、熱心で話す子がいたので、あまり話できなかったけど、聞くのも一つの楽しみでした。でも、この日程はみんなにふさわしいかもしれないが、わたしのようなゆっくりした人に対してちょっときつかったです。

・子供のような大人が多く、彼らはこれからの少子高齢化の日本において、「素敵！」とか「こういう大人になりたい！」などの憧れというか希望というか、未来のロールモデルになるのじゃないかな、と思いました。彼らとかかわる事はお母さん、お父さん世代や学生にとって人生を豊かにするものだと思います。参加者は違いを楽しむ心意気が必要だなあと再確認しました。今までない体験を通して自分なりの視点で楽しむことって大事だし、そういう人を参加者として受け入れた方が効率いいのかなあと思いました。

・5、6年ぶりの奄美ということもあってとても楽しかったです。奄美豪雨災害があったこともあっていろいろ建物や景色が変わっていました。奄美に住んでいた時は家族で奄美島内を旅行していて、地元の方に案内してもらおうということがなかったのでその集落や観光場所の蘊蓄を聞くことができたのがもっとも良かったです。住用はマングローブや山の多い場所というイメージが強く、古仁屋に行く通り道でしかなかったのが、今回住用のあちらこちらを回ってみてそれだけではないのだと思いました。住用の良さを改めて知ることができました。また、地元の人と交流できたことが良かったと思います。観光に来てあの場所へもう一度行きたいと思うことはなかなかありませんが、他人との思い出はもう一度会いに行きたいから奄美へ行こうと思えるきっかけになるものだと思います。特に今回は諏訪原さんのお宅に泊めさせていただき、また諏訪原さんとお会いすることができたらいいなど思いました。あみつけ漁ができなかったことが少し心残りではありますが、それもまた奄美に行きたいと思えるきっかけになりました。

・人も良くて山と海の景色も素晴らしい。特に山よりも海がもっと美しく山から見下ろした海が絶景。

汚染されていない自然に驚きました。きれいで美しい島でした。住用は、海あり山あり集落あり人あり、知れば知るほど好きになりました！第一印象はここが住用だよと言われた内海の静けさでしたが、海で遊び山を歩き、古民家の並ぶ集落の中で挨拶を交わしておしゃべりをして、住用での時間がますます、もっとゆっくり過ごしたい、もっと知りたい、もっと話したい、と「もっと」が増えた気がします。

### ●奄美（住用）の人の印象

・めったに見られない親切な人々が多かった。皆明るくて愉快な方で、とっても優しくていろんなことをたくさんしてもらいました。

・地元の皆さん自身がおっしゃっていた「世話好き」という言葉がぴったりだなと思いました。笑顔で声をかけてくれたり、食べものをおすそわけしてくれたり、私たちが気を使わないように配慮してくださったり、とても嬉しく、地域のあたたかさを感じました。

・みなさん自身が常に楽しそうだと感じました！市集落のみなさんも、青年団のみなさんも、高校生も、おしゃべりしたり歌ったり遊んだり、住用のみなさんは、その場を楽しむ・楽しませることがとても上手だと感じました！

### ●住用の人から聞いた印象的な話・言葉、景色、物

#### ◇話、言葉

・「ハブはそこにいるもん」

…「ハブは島の人にとってどんな存在ですか？」の質問に返ってきた答え。島の人にとってハブは島の一部で、害獣ではなく自然の一部のようなものなのだと感じた。危険ではあるけど、ハブという存在を理解し、ともにこの地で生きてきたからこそ出てきた言葉だと感じました。

・「奄美の自然を守ってきたのは、ハブとこれ（ガジュマル）」

…ガジュマルには、神が宿っているから伐採してはいけない。またハブがいるから、人は山に入りにくからない。だから昔のまま森が残っている。

・「おまえはすごい」

…「いや、おまえがすごいよ」とお互いを高め合うのは、青年団だけでなく年配の方たちも同じでした。言葉がストレートで、前向きであたたかい。そして熱い！

・「まず、親の足元を見て練習したもの。手はあとからついてくる。」

…八月踊りに関して、皆さんが言っていました。

#### ◇景色

・内海のいろんな顔。

…昼下がりのただただおだやかな内海。心もおだやかになりました。海面が鏡になって夕日が2つ、オレンジがまぶしい夕方の内海。明日もがんばろうって思いました。朝方の内海も見てみたかった



です。

・奄美大島の海と一言に言えど、浜によっていろんな海がある。

…ターバマをはじめ、石の形がちがったり、砂だったり、岩だったり。色んな海があつて楽しかったです。本当に昼寝したかった。

#### ●住用の魅力は？

・やっぱり人。人好きな人が多い。料理を作って持ってきてくれたり、案内をしてくれたり、来た人を喜ばせようとしてくださる心意気がとても嬉しくて心地良い。たとえ相手がどんな国籍だろうが関係なく共に楽しもうとする。懐の深さに触れ合えることができれば、来た人は必ず感動すると思う。

・人が暮らしているが、まだきれいな自然の姿そのままという点が最も大きな魅力だと思います。

・大自然がそのままの形でたくさん残っている。サーフィンができる海岸、マングローブの森や、視野が開けたところでカヌーに乗ることができる体験が可能で、すばらしい海岸に沿ってバンガローで滞在できる点、日本最高の小学生相撲選手のお陰で相撲の迫力を少しでも感じる事ができた点、また海が美しく不思議な植物や野生動物を見ることができて良かったです。そして会った人たちが皆親切な人だったと感じました。

・ゆたかな山、あたたかい海、個性あふれる集落、そしてすてきな人、住用は、1日目、2日目、3日目と、知れば知るほどにその魅力を増していくあたたかい地域でした。そして、その中でも印象強いのは、夕焼けが反射する内海の美しさと、地域の皆さんの笑顔です。地域の祭りを守っていかうとする姿や、自分たちの住用をもっと面白くしようと語る姿は、とても楽しそうで、女性も男性も若者も先輩方も、笑顔のなかにも力強い、前向きな姿が印象的でした。内海と山と夕日の住用は、さわやかな青緑と笑顔のオレンジで、私がこの3日間で感じた住用のイメージ、魅力のまんまです。

・マイナスな気持ちで来たわけではなかったのですが、住用の旅を通して確実に元気になりました！エネルギーをいただきました！本当にありがとうございました！





### マングローブカヌー

約1時間のガヌーツーリングが、5つの時間帯から選べます。潮の干満によって、見られる景色も行ける場所も少しずつ変わるのだとか。  
料金もお手頃。ご予約はお早めに～！



### 展望台

カヌーが苦手という方に。  
カヌー乗り場の奥から展望台に続く階段を上ると展望台が。施設に隣接する「お立ち台」からもマングローブ原生林が一望でき、最高の眺めです。



### マングローブ観光遊歩道

パーク、お立ち台、茶屋に隣接した場所にあります。少し急な階段を降りて別な角度からマングローブを身近に見られます。所要時間15分くらいなので疲れません。雨が降った後は気をつけて。

## D モダマ

鹿児島県奄美市住用町大字東仲間  
<http://modamanosato.web.f...>



### おすすめポイント!!

東仲間（ひがしなかま）集落のすぐ近くにある、神秘的な沢。ぐるぐるねじれた太いつるにびっくりすること間違いなし。綺麗な水場を囲むように、モダマの幹から伸びたつるが沢全体を覆っていて、薄暗く包まれた感じです。

モダマは巨大な枝豆のような実がその名前の由来ですが、今では台風の影響で豆がついたりつかなかったりします。ちなみに種が♡型なんだとか。  
ここに限りませんが、夏場はハブ先輩に、雨天時は滑らないようご注意ください。



### 手作り感ある看板

水場のある沢から道路の反対側に、住民の方が描いたモダマの絵とモダマの説明が書かれた看板があります。この後にもつるがある！一体モダマはどこから生えてるのか...？

## F 城海岸

住用町 城



### おすすめポイント!!

夏には全国からサーファーが集まる、奄美屈指のサーフポイント！城（ぐすく）集落の目の前、防風林を挟んで広がり、気持ちが開放的になる場所です。  
サーファーの方たちが作ったのか、入り口には手書きのサーフィンの標識やアートな石？が並んでいたりしてセンスを感じます！

道路の急カーブのところから駐車場に入るので気をつけて。集落に入った時はスピードを落とし、安全運転で◎

## C フナンギョの滝

住用町川内



### おすすめポイント!!

川内（かわうち）川沿いをず〜っと奥まで進むと見える、川内集落。さらにお墓を通り過ぎた道の先に、「フナンギョの滝」があります。  
大きくはないけれど、山の中のとても美しい滝。涼しいので、夏は最高です！石橋から身を乗り出す時は、ヤスデという虫にご注意。

珍しい滝の名前の由来は、地元の人に聞いてみましょう〜  
青い観光案内の看板が目印☆



### でこぼこ道

歩きやすい服装、靴がオススメ。途中で車を停めて、600mほどのゆるい坂道を歩きましょう♪ご飯の後の運動にはぴったりかも。道には「ヘゴ」や「クワズイモ」など、おっきな植物に驚き！

## E 内海

鹿児島県奄美市住用町見里  
<http://www.city.amami.lg.jp/>



### おすすめポイント!!

奄美大島唯一の内海。川と海の間にある汽水域です。

凪時の静かな水面は鏡のように空と山を映し出し、なんだか心を落ち着かせてくれます。周囲は地元の方の人気おさんぽコースとなっていて、釣りをしている人や、たまにクロウサギの糞や野ヤギが見られることも。

車でバンガローの横からぐるっと半周まわり、行き止まりのところから歩いて太平洋へ抜けられます。「南東雑話」にはワニやジュゴンが迷い込んだこともある、との逸話がかかれているのだとか...！



### 内海バンガロー

内海を眺めながら泊まれるウッディーなバンガロー。バーベキューセット（有料）も借りれるので、グループならここがお得。



### 内海ランチ

内海の近くにはお弁当屋さんがある軒があります。ぜひ奄美っぽいメニューのお弁当を選んで、内海を眺めながらピクニック気分を楽しんで。  
来た時よりも美しく！ゴミは持ち帰りましょう。



### 内海サンセット

山に沈む夕日が綺麗です。  
パシャパシャと跳ねる魚にたまにびっくりしつつ、穏やかな波や雲を眺めてぼーっといたしましょう。  
地元の初日の出スポットなんだとか。

## H 奄美アイランド ★

📍 鹿児島県大島郡住用村山間811-1  
🌐 <http://www3.ocn.ne.jp/~ama...>



### おすすめポイント!!

「原野芸博物館」という看板が目印の、小さな博物館。2010年以降の水害で一時休館していましたが、復興展「クサビ式締め太鼓」が開催されています。奄美大島のお祭りや運動会に至るまで、様々な場面で使用される身近な太鼓「チヂン」。日本の他の地域で滅多に見られない珍しいタイプなんだそうで、アジアからのルーツを紐解く展示は興味深いです。お時間に余裕のある方、奄美の文化に興味のある方は是非。



### クサビ締め太鼓展

好きな人は好きそう。太鼓なんてじっくり見る機会はないけれど、奄美の文化の奥深さが垣間見れて、「へ〜!」となるスポットです!

## J 住用町 ★

📍 住用町



### おすすめポイント!!

北部の海が綺麗な笠利、中心部の名瀬、南の情緒漂う瀬戸内。国道58号線で繋がる住用町はその間にあり、すっ飛ばされがら(笑)

でも、自分で自分の好きな島の風景を探したい、そんな人にはぶらっと訪れるのに良い場所です。ぜひ色々な角度から奄美大島を楽しんでください!



### ニャンコさん

やっぱり猫は多いのです。癒されましょう。



### ヤドカリ

浜に打ち上げられたソテツの木の裏とかによくいます。デカイ。



### 車窓の景色

市集落方面の道路は海岸線、役所集落方面はミカン畑、2月には至る所で結実桜が綺麗です。

## G 石抱きガジュマル

📍 住用町山間



### おすすめポイント!!

山間集落の入り口、住用湾と道路の間に、大きな岩を抱いたガジュマルがあります。美しくもあり、不気味でもあり、不思議な存在感を放つ場所。ここにはまつわる伝説もあるみたいなので、気になる方は集落の方に聞いてみましょう☆集落の中に素敵な商店がありますよ。車は邪魔にならないように、さっと端に駐めて。

## I 奄美体験交流館 ★

📍 鹿児島県奄美市住用町大字見里...  
🌐 <http://info-amami.net/beaut...>



### おすすめポイント!!

住用でお風呂ならここ!

サウナ・五右衛門風呂・薬草風呂などがあって、地元の人からも人気。カヌーや滝をまわった旅の一日は、お風呂でゆっくり疲れを癒しましょう。入浴道具を忘れちゃった、という人は買うこともできますよ〜

ちなみに地元の方が作ったお野菜や、パン、お菓子、調味料なども購入できるので、集落の商店が閉まった後はお役立ちの施設です。



### 相撲稽古

実は、奄美大島は相撲がとっても盛ん。集落や学校の広場には必ずと言っていいほど土俵があり、小さい頃から慣れ親しんでいる人が多く、住用の人も相撲好きが多いのです!ここで稽古している小学生の中には全国レベルの子もいるのだから、見学はお問い合わせを。